



平成19年10月31日

各位

会社名 タカセ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 眞田 洋  
(JASDAQ コード番号: 9087)  
問合せ先 取締役執行役員兼  
総合改革本部財務グループ長  
島津 和人  
(TEL. 03-3571-9497)

## 平成20年3月期中間および通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月22日の決算発表時に公表した、平成20年3月期中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)および通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成20年3月期中間業績予想の修正

##### ①中間連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	6,750	170	150	90
今回修正予想(B)	6,700	270	260	130
増減額(B-A)	△50	100	110	40
増減率(%)	△0.7%	58.8%	73.3%	44.4%
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期中間)	6,728	50	21	△49

##### ②中間個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	6,300	140	120	70
今回修正予想(B)	6,200	220	210	100
増減額(B-A)	△100	80	90	30
増減率(%)	△1.6%	57.1%	75.0%	42.9%
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期中間)	6,234	33	15	△50

## 2. 平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正

### ①通期連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	13,700	430	390	210
今回修正予想（B）	12,900	430	390	210
増減額（B－A）	△800	0	0	0
増減率（％）	△5.8%	0.0%	0.0%	0.0%
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期通期）	13,496	300	263	△135

### ②通期個別業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	12,800	360	320	170
今回修正予想（B）	12,000	360	320	170
増減額（B－A）	△800	0	0	0
増減率（％）	△6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期通期）	12,513	239	206	△166

## 3. 中間期業績修正の主な理由

### （1）中間期の個別決算の業績予想

- ①営業収益につきましては、音楽映像商品が低迷するなど全般に物量が伸び悩み、特定顧客の一時的集中業務があったものの、前回予想比微減の 6 2 億円となる見込であります。
- ②営業利益および経常利益につきましては、前年度下半期に実施したコスト削減策の効果と川崎新倉庫稼働率改善、経費削減に加え、一時的集中業務の好採算にも助けられ、営業利益が前回予想比 5 7. 1 % 増の 2 億 2 0 百万円、経常利益が前回予想比 7 5. 0 % 増の 2 億 1 0 百万円となる見込みであります。
- ③中間純利益につきましては、特別損失として役員特別退職慰労金 1 8 百万円計上が発生しましたが、経常利益増加にともない、前回予想比 4 2. 9 % 増の 1 億円となる見込みであります。

### （2）中間期の連結決算の業績予想

中間期の連結業績の予想につきましては、主に個別の業績予想の修正要因によって、営業収益は前回予想比微減の 6 7 億円、営業利益は前回予想比 5 8. 8 % 増の 2 億 7 0 百万円、経常利益は前回予想比 7 3. 3 % 増の 2 億 6 0 百万円、中間純利益は前回予想比 4 4. 4 % 増の 1 億 3 0 百万円となる見込みであります。

#### 4. 通期業績修正の主な理由

##### (1) 通期の個別決算の業績予想

平成19年7月27日付公表の「主要取引先との取引停止に関するお知らせ」に記載のとおり、主要取引先株式会社ミスミより受託しております現行物流業務が、平成20年3月末までに段階的に同社自営に移転されることとなり、平成19年8月中旬に移転が開始されました。現時点で、今後の順次移転の詳細スケジュールや移転終了時期、一部業務継続の可能性等が最終確定に至っておらず、流動的要素が残っておりますが、通期の業績に関して、前回予想には折り込んでいなかったミスミ業務における相当程度のマイナス要因が当平成20年3月期の下半期において発生することを主因として、営業収益は前回予想比6.3%減の120億円に、また営業利益および経常利益は中間期の前回予想比プラス金額相当額が下期に減殺されて通期では前回予想金額並みの3億60百万円と3億20百万円に、中間純利益も同様に前回予想金額並みの1億70百万円になるものと予想いたします。

##### (2) 通期の連結決算の業績予想

通期の連結業績の予想につきましては、主に個別の業績予想の修正要因によって、上記のとおり修正いたします。

##### (ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上